

平成28年度予算案の主な事業

平成28年度予算案の主要な事業の一部を紹介します。

防災力・防犯力

不燃化特区内におけるオープンスペースの確保、危険性が高い老朽空家除却費用の全額助成、永久水利施設のさらなる整備、慢性疾患用医薬品の備蓄体制の整備等、安全なまちづくりを進めます。加えて、全ての区立公園への防犯カメラの設置等、犯罪から区民を守るための取り組みを進めます。

- 防災スポットの整備 (1億9563万円)
- 災害時における慢性疾患用医薬品の備蓄 (333万円)
- 公園への防犯カメラの設置 (1685万円)



教育・子育て

社会的支援を必要とする子どもの居場所づくり、全小学校に拡大した放課後子ども教室(にこにこすくーる)、国家戦略特区による規制緩和を活用した公園内保育園の整備を始めとした保育定員の拡大、学校図書館の充実、区内最大級規模となる区立公園の整備等、教育・子育て環境の充実を図ります。

- 保育定員の拡大と待機児童解消に向けたさらなる取り組み (12億6763万円)
- 新たな公園等の整備 (14億9743万円)
- 学校図書館の充実 (693万円)



文化・観光

図書館・吉村昭記念文学館・子ども施設を融合させた「ゆいの森あらかわ」の開館、都電俳句会・句碑の建立等「俳句のまちあらかわ」の区内外への発信、日暮里駅構内の観光案内コーナーと南千住地域への観光情報提供サロンの設置による観光客等の受入体制の充実等、文化の振興と観光客の誘致を図ります。

- ゆいの森あらかわの開館 (43億3129万円)
- 俳句文化の振興 (1725万円)
- 観光客等の受入体制の充実 (2173万円)



◀ ゆいの森あらかわ(イメージ)

地域力・環境

さまざまな機能を融合した「(仮称)日暮里地域活性化施設」の整備、食品ロス削減を目指した「(仮称)もったいない協力店」の募集、中間処理機能とRの普及啓発機能を一体化した「(仮称)荒川区リサイクルセンター」の開設、地域の力を活用したリサイクルの推進等、地域の活性化と資源の有効活用を推進します。

- (仮称)日暮里地域活性化施設の整備 (2138万円)
- 荒川もったいない大作戦 (147万円)
- (仮称)荒川区リサイクルセンターの開設 (7207万円)



◀ リサイクルセンター(イメージ)

健康・福祉

手軽にできる介護予防体操の開発、「生活支援コーディネーター」の配置、区内8か所の地域包括支援センターへの「認知症地域支援推進員」の配置、認知症高齢者グループホーム等介護サービス施設の誘致促進、重度障がい者受入グループホームへの支援、糖尿病版チャレンジャー事業等、健康・福祉施策の充実を図ります。

- 介護予防のさらなる充実 (1052万円)
- 認知症施策のさらなる推進 (5719万円)
- 地域に密着した介護サービス施設の整備促進 (2億167万円)
- 健康づくり施策の推進 (392万円)



▲ 荒川ころばん体操

全国の自治体との連携

東京を含む全国各地域が強い信頼関係のもと、共に発展・成長しながら共存共栄を図っていくため、地域産業に寄与する物産市や雪のイベント、人の交流を図るための子どもたちの自然体験事業、秋田市と連携した中学校ワールドスクールの実施、区民ツアー等、全国の自治体との連携を推進します。

- 区民ツアーの充実 (226万円)
- 少年の自然体験事業 (102万円)
- 中学校ワールドスクール (450万円)



▲ 雪のイベント

むすびに

平成28年度予算案は、荒川区民の幸福実感向上に向けて、早急な具体化が求められるもの、中長期的な取り組みとして遂行すべきもの、双方の視点から優先順位を付け、必要な事項を予算化したものです。

区役所は、区民の幸せをいかに高めていくかということを根幹に置いて、さらなるマーケティングとイノベーションにより、効果的な行政サービスを提供していかねばなりません。「既存の施策をどのように見直せば、区民のニーズに近づき、区民の幸せに寄与できるのか」「新たなサービスは、区民にどういった価値をもたらすのか」「それらに要する経費は、区民の納得を得られるのか」等、職員一人一人がそ

れぞれの立場で、区民の思いに真摯に向き合い、知恵を絞っていくことが重要です。

松下幸之助氏は、「なすべきことをなす勇氣と、人の声に私心なく耳を傾ける謙虚さがあれば、知恵はこんこんと湧き出てくるものです」という言葉を残しています。第一に必要なのは、区民の声を真正面から受け止める職員の姿勢です。素直な気持ちで区民に寄り添い、相手の立場で解決策を考えること、そこから初めてアイデアが生まれてきます。これをもとに、組織を挙げて具体的な施策へと育て、区民の幸せという大輪の花を咲かせていくことこそが区役所の役割です。

これを実現できる人財の育成と区役所の体制

強化を目的に「荒川区職員ビジネスカレッジ」の創設や研修の充実等を進めてきました。そして、今その成果が実を結ぶ時期を迎えていると考えています。区役所には、国にはない発想があり、国ではできないことができるのです。昨年、荒川区から国への積極的な働きかけにより国家戦略特別区域法が改正され、都市公園内での保育園の整備が可能となったことも、その一例です。今後は、この制度の活用により、荒川区だけでなく都市部を中心に、全国の多くの自治体において保育施設の整備が進められるものと大きな期待が寄せられています。

区民の思いを肌で感じ、区民の求めを具体化するために精一杯の努力を続け、笑顔あふれる荒川区を実現していく決意です。皆様の一層のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

(要旨)

平成27年度荒川区議会定例会・2月会議
「予算に関する特別委員会」の総括質疑の様を
CATVマイチャンネルあらかわ(地デジ11ch)で放送します

問合せ 議会事務局 ☎内線3616

総括質疑は、区議会の各会派を代表する議員が、あらかじめ割り当てられた時間で区長等に質問をするものです。

日時 3月7日(月)～13日(日)午前9時～11時、午後6時～8時
※1日に2回放送